

コミュニティバスにゆ〜す 19

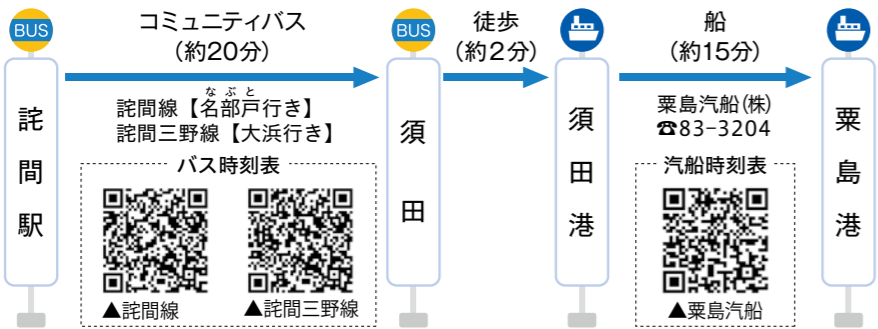
問い合わせ 地域戦略課 ☎73-3011

コミバスと船で粟島に行ってミヨ!

いよいよ夏本番!今年の夏はコミバスと粟島汽船に乗って、粟島へ遊びに行ってみませんか?

海水浴やバーベキューはもちろん、宿泊すればウミホテルの輝きを見られるのも夏ならではです。さらに、8月末までは2人の芸術家も滞在しており、間近でアートの制作風景を見せてもらうこともできるかもしれません。ぜひ、ご家族や友人と粟島の美しさを満喫しましょう!

例えば...JR詫間駅からのアクセス方法



島内での移動には、環境にやさしい低炭素型電動カート「グリーンスローモビリティ」をご利用ください。

運行日 月・水・金・土曜日 (※祝日や悪天候時は運休)
利用方法 フリー乗降制



文書館だより

夏期企画展

「三豊と皇室 vol.2」
「三豊、献穀の歴史」

今年、文書館の近くに新嘗祭献穀田が設置されています。企画展では、これまでの新嘗祭や大嘗祭への献穀の歴史を紹介いたします。

期間

8月5日(土)～10月1日(日)
開館時間 午前9時～午後5時

休館日

月曜日、祝日、8月31日(木)、9月29日(金)

※9月18日(月・祝)は、新嘗祭献穀田の抜穂式のため特別開館

主な展示資料

- ・新嘗祭献穀田や大正天皇即位大嘗祭に関する古写真や歴史公文書
- ・今年の新嘗祭献穀田の紹介



ぶんしよかんの夏休み (子ども体験講座)

「和綴じノートを作ろう!!」

自分だけのA5判オリジナルノートを和綴じで作ります。夏休みの工作にいかがですか。

日時

8月23日(水) 午後2時～3時30分

会場

山本庁舎

定員

5グループ15人程度(先着順)

※小学3年生以下は、保護者の同伴が必要

持参物

- ・カッターやはさみ
- ・定規(30cm程度)



申し込み・問い合わせ 文書館 ☎63・10110

じんけん探訪99

8月は同和問題啓発調月間

香川県では、8月を「同和問題啓発調月間」と定め、啓発のためのテレビCM放送や講演会の開催などを行っています。

「もう部落差別はなくなった」「昔の話だ」と考える人もいます。しかし今もなお、同和問題に関して次のような差別事例が多く発生しています。

- ① インターネットの匿名性を悪用した中傷や差別的書き込み
- ② 就職や結婚時の身元調査のための戸籍謄本・住民票の不正取得
- ③ 不動産業者が取り引きの時に行う土地調査

このように、これまでも増してインターネットの普及に伴う新たな差別事例が起きていることを受け、部落差別解消を目的とした「部落差別解消推進法」が2016年に恒久法として施行されました。改めて「今、ここ」にある問題として、認識しなければなりません。

差別を支えているもの

私たちの身の周りには、例えば六曜※のように科学的根拠がないにもかかわらず、私たちの行動を制限している風習を迷信と言いますが、「みんながしているから」「昔からそうだから」などの理由で主張されているものがあります。

自主防災組織を作ろう! 避難はいつ、どこに?

「避難」とは、難を避けることです。避難場所に行くことだけが避難ではありません。普段からどう行動するか決めておきましょう。

避難場所へ避難

避難時にはマスク、食料、飲み物などを持参してください。自宅での屋内安全確保

安全な親戚・知人宅へ避難

災害時に避難させてもらうことを普段から相談しておきましょう。安全な宿泊施設などへ避難

警戒レベル早見表

警戒レベル 5	緊急安全確保
警戒レベル 4	避難指示
警戒レベル 3	高齢者等避難
警戒レベル 2	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)
警戒レベル 1	早期注意情報(気象庁)

【警戒レベル4・避難指示】危険な場所から全員避難してください。

【警戒レベル3・高齢者等避難】避難に時間がかかる高齢者や障がいのある人など、またその支援者は危険な場所から避難し、それ以外の人は避難の準備をしましょう。

既に周辺で災害が発生しているなど避難することが危険な場合は、少しでも命が助かる可能性の高い行動をとりましょう。

例 自宅の上の階、崖から離れた部屋などに移動する

その中で、その風習や慣習にしがらみがない人を見たとき、「常識のない人」という見方をすることがあります。このような見方や同調圧力が、場合によっては差別を温存したり、助長したりします。

正しい知識と認識を

いわゆる解放令以後、何も対策を取らず約50年間「そっとしておいた」ことで、結果として差別はさらに厳しくなり、被差別当事者たちは自ら差別解放に立ち上がり、全国水平社が創立されました(1922年)。その後、政府は国の責任として法律を制定し、関係の都府県と連携して取り組んできたのが、同和対策事業です。

歴史的背景を見て分かるように、社会問題ですから自然には解決しません。

同和問題は、被差別部落に生まれたことを理由に差別を受けていますが、「生まれ」は自らの努力や選択の余地などありません。選べないことについて責任を取る必要はないのに、責任を取らされている。正しい知識と認識によって、人の意識(自覚)が変革されるのが解消への道です。

問い合わせ 人権課 ☎73・3008



※六曜...先勝・友引・先負・仏滅・大安・赤口の6種類の日の吉凶。